

第3学年 総合的な学習活動案

1. 単元名 「○○の人を見つめて」～○○○○名人にチャレンジ！～

2. 活動にあたって

こんな子どもだから

本学年の子どもたちは、今まで「○○ぶどうのひみつをさがろう」を通して、地域にあるぶどう園に親しむことができている。課外でも進んで見学に行ったり、インタビューをしたり、ぶんどききたが、粘り強く考えることは苦手とする子どもも多い。友だちや教師の話をしてきいたり、また、ぶどう園の見学を通して、自分が知りたいことを質問したり、分かっていたことや知らせたいことを写真や絵、実演を通して伝えたりという活動をどの子どもも経験してきている。自分のやりたい方法で“調べる”“表現する”といったところは、少しずつできてきている。

この単元で

本単元では、○○校区の中の名人とのかかわりを通して、名人の持つ特技の価値や人間力のすばらしさに気づき、自分も名人のようになりたいという思いや願いから頑張った成果をいろいろな人に見てもらいたいという意欲をもって、表現活動に取り組む力を育てることをねらっている。子どもたちは、生活科の学習やわくわくフェスタで、昔の遊びや木工細工、ご飯炊き、外国の料理作りなどの活動に取り組むことで、校区の人とのかかわりを持つことができている。地域の方々とのかかわりを持つことが上手なおじいちゃんや自然のものを使った飾りやおもちゃを作るのが上手な自治連合会会長さん、ゲートボールの先生をしている地域の方など、たくさんの特技をもった“名人”と呼ばれるにふさわしい人々がいることに気づいてきている。そして、○○の人とのかかわりを通して、名人のよさ、友だちのよさ、自分のよさに気づき、また、国語科で学んだ「筋道を立てて話す力」を生かすことができると考える。自分が調べてきたことや名人の技を練習してきた頑張りを伝えることで、自分に自信をもち、満足感や充実感を感じることができるようになりたい。

こんな支援で

- 名人とのかかわりをくり返す中で得た感動や体験して感じたことを、絵・写真・実演・ワークショップ等を活用することで、聞き手を意識した発表ができるように表現方法を選択させる。
- 名人に教えてもらったことができるようになるための練習時間を確保し、自分にもできるようなったこと自信がもてるようになるための練習時間を確保し、自分にもできるようなったこと自信がもてるようになる。
- 自分の興味・関心・活動意欲に基づいた自分の課題を設定し、課題や追究の方法・発表の仕方を話し合い、選択させ、意欲をもって追究活動が行えるようにする。
- 自分のよさを実感し、自信がもてるように、できるようになったことを地域の方や友達、お家の方々などに見てもらえる発表の場（発表会）を設定する。
- 校区探検やひまわりの種配りで校区に出かけた経験を生かして、自分たちで名人に弟子入りし、そのわざやこつを覚えてもらうことで、楽しさや難しさを実感し、名人のすばらしさに気付かせる。

こんな力を

- 【表現する力】 名人とのかかわりの中で得た感動や体験して感じたことを、自分なりの方法で、相手に伝わるように発表することができる。
- 【追究する力】 調べる方法やまとめ方を選択し、課題解決に向けて粘り強く取り組み、自分なりの答えを見つけることができる。
- 【共に学ぶ力】 友だちとの交流を通してもっと調べてみたいことを見つけたり、友だちの考えの良さに気付いたりすることで自分の考えを見直すことができる。
- 【関わる力】 名人との出会い、かかわりを通して、その人の考え方や生き方にふれることで、校区に住む人たちのすばらしさを感じ、校区への愛着を持つことができる。

3. 主な学習活動単元計画と内容、評価規準および教師の支援（40時間）

学習過程 (配時)	主な学習活動と内容 (生かしていく国語科の表現する力)	評価規準 (評価方法)	教師の支援
つ か む (8)	1. ○○○○名人にチャレンジ！で自分の追究したい課題を決定する。 ○アンケート調査 ① ○課題選択計画 ② ○取材活動（1回目の見学） ③ ○取材活動の全体交流 ① ○課題の選択 ① (小集団による話し合いでお互いの取材活動について交流する。)	【追】これまでの経験や校区探検から、名人について調べてみたいことを出し合い追究課題を選択することができる。(学習プリント・行動観察) 【共】課題の交流をする中で友だちと考えが似ているところや違っているところを見つけこれからの学習に意欲をもつことができる。(行動観察) 【表】取材活動を通してこれから追究したい課題・追究方法を友だちに話すことができる。(学習プリント・行動観察)	※ ぶどう作りの名人以外にも校区に名人がいないかアンケートを取らせ、学習への関心を高めさせる。 ※ 事前に子どもの多様な興味・関心に応えることができるように依頼しておく。 ※ 分かったことなどを自分のしたい方法でまとめることができるようにしておく。
○○○○名人に弟子入りし,名人の「ここがすごい！」を見つけよう。			
さ ぐ る (22)	2. 課題ごとにチームに分かれて名人にチャレンジし追究活動を行う。 ○学んできたことをグループごとに追究 ② ・お茶・生花・押し花 ・竹細工・工作・料理 ・昔の遊び・太鼓・陶芸・ゲートボールなど ・見学・体験・聞き取り・発表準備など ○中間発表会 ② ・実演・作品展示など (小集団による話し合いで個別の追究活動について交流する。)	【表】見つけてきた名人のすばらしさをみんなに伝えるために自分の選んだ表現方法でまとめ、友だちと考えを交流することができる。(学習プリント・行動観察) 【関】課題解決をするために名人にインタビューをしたり一緒に活動したり、積極的ににかかわることができる。(学習プリント) 【共】友だちと協力して、多様な方法で課題追究することができる。(表現物・行動観察)	※ 自分が興味・関心をもった名人を決め、追究活動を行わせる。 ※ 名人の邪魔にならないように気を付けながら手伝いや作業をさせる。 ※ 自分たちの課題追究のための方法を多様な方法でまとめるように促す。
ふ り 返 る (10) 本時 38 / 40	3. 分かったことや考えたことをまとめる。 ○表現物など発表の準備 ⑦ ○「○○ちびっこ名人！発表会」 ① (本時38 / 40) (絵や写真を用いた発表, 実演・ワークショップなどでたくさんの人に名人の技や自分の苦労や感動を伝えるために表現物を工夫し聞き手に分かりやすく発表する。) ○ふり返りカードの記入 ① ○お礼の手紙書き ①	【表】名人のすばらしさをたくさんの人に自信をもって発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。(表現物・行動観察) 【関】交流活動を通して、○○の様々な名人のすばらしさ、自分や友だちのよさに気づくことができる。(学習プリント・行動観察) 【関】名人とのかかわりをふり返り“ふるさと○○”に愛着をもつことができる。(学習プリント)	※ 誰に何を伝えたいのか相手意識と目的意識をもって発表の準備をさせるようにする。 ※ 中間発表会での反省を生かし、まとめたことを付加修正し、自分たちが発表したい方法でまとめさせる。 ※ 名人のすごさに気付かせ関心をもたせるために名人に実演や講話をしていただく。 ※ 自分の頑張りに関心をもたせるために教師がまとめる。

5. 本時目標

- 「○○ちびっこ名人！発表会」で、名人とかかわる中で感じたことや、友だちや自分のよさを多くの人に伝えることができる。 【表現する力】

6. 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、○○のさまざまな分野の名人とかかわり、名人のこれまでの取組や努力について調べたり、名人から技を教わったりしてきている。その中で名人のすごさを感じ取り、「名人のようになるのは大変なことだ。」「名人と出会って○○を頑張ったぞ。」「技ができるようになったのは○○したからだ。」と、名人とのかかわりを通して驚いたこと、うまくいったこと、つまづいたこと等を発表会に向けてまとめてきている。中間発表を経て、友だちから発表内容や方法についてアドバイスをもらい練習を積んできた。

本時では、これまでに自分がやってきた取組、その際に感じたことを多くの人に発表したり、友だちが追究してきた名人についての発表を聞いたりして、○○にたくさんのお名人がおり、どの名人もすばらしいということや自分のよさ、友だちのよさに気付くことをねらいとしている。そのために「○○ちびっこ名人発表会」を開き、グループごとに絵、写真を用いたり、実演やワークショップをしたりして自分なりの表現方法で弟子入りした名人とのかかわりを通して学んだこと感じたことを交流させる。名人に弟子入りした経験や感動を交流する場を設定すれば、○○のよさ、自分のよさ、友だちのよさに気付くことができると考える。

まず、今までの活動が想起しやすいよう、前時までの活動の様子を写真等で掲示しておくことで、発表会への意欲をもたせたい。

次に、前半・後半にグループを分け発表会を行う。その際、聞き手に自分の考えが伝わるように発表させるために、国語科の学習や、独話活動、これまでのキラキラ学習の時間で学んだ絵、写真、実演、ワークショップなどの表現方法を活用させたい。また、本時では、発表する立場、聞く立場の両方を経験させる。そうすることで、友だちや地域の方々に自分のこだわりを話したいという思いを実現させたり、友だちがかかわってきた名人のすごさや友だちの頑張りに気付かせたりできるであろうと考える。

また、評価補助簿をもとに、発表が進まないないグループや考えがまとまらずに交流が停滞しているグループに適切なアドバイスを行いたい。

G Tとして来ていただいている名人に、子どもたちの頑張りを認めるような話や名人自身が技を体得するまでに積んだ努力等をしてもらえば、子どもたちがさらに名人に関心をもつことができると考える。


最後に、自分や友だちのよさに気付いている子どもの姿を、教師が全体の場で紹介することで、この単元での活動をふり返り、自分の頑張りに友だちのよさに気付くことができると考える。

この学習では、国語科で培った「相手や目的に応じ、分かりやすく伝わるように筋道を立てて発表したり、話し手の思いや願いを受けとめ、話の中心に気を付けて感想を話したりすることができる力」が交流の場で生かせるように、国語科で学習したことを音楽室の側面に掲示することで支援していきたい。

7. 準 備

- (児 童) 発表に必要な物 (絵・写真・実演に使う物など)、バインダー
- (教 師) ふり返りカード、掲示カード、移動黒板、評価補助簿

8. 本時学習の展開

主な学習活動と内容	教師の支援
<p>1. これまでの学習をふり返り、本時のめあてを確認するために話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの学習内容の発表 ○ 発表の手順の確認 	<p>※ これまでの取組（名人を取材したこと、弟子入りしたこと、発表会の練習を積んできたこと）ふり返らせ、本時の発表会に対する意欲を高めさせる。</p> <p>※ 多数のコーナーに分かれるので、スムーズに動けるように、場所や時間の確認をしておく。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>めあて</p> <p>名人にチャレンジ！して学んだことを、たくさんの人に伝えよう。</p> </div>	
<p>2. 発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前半グループの発表と質問・意見の交流（絵、写真、実演、ワークショップなど） ○ 後半グループの発表と質問・意見の交流（絵、写真、実演、ワークショップなど） <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;"> <p>もっともっと練習してこま名人さんのように上手になりたいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;"> <p>〇〇さん、まるで本当のお茶名人さんのおようだったな。何度も習いに行ったのかな。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>本物の名人さんはすごいな。あきらめないで努力し続けたんだな。ぼくもあの時あきらめかけたけど、名人さんのように最後まで頑張ったから、なんとか技を見せられるようになったよ。</p> </div>	<p>※ 名人から学んだことや、自分の頑張りや感想をより詳しく伝えられるよう、練習での友だちからのアドバイスなどを生かして発表できるように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵、写真 ・ビデオ上映 ・実演 ・ワークショップ など <p>※ 発表の時間は10分間とし、合図のチャイムを鳴らすことで、一斉に次の活動に移るようにさせる。</p> <p>※ 発表がスムーズに進むように、評価補助簿をもとにT1、T2、T3の支援の役割や場所を決めておく。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>評価規準</p> <p>【表】 自分なりの表現方法で名人とのかかわりの中で体験した、努力や喜びを伝えることができる。</p> <p style="text-align: right;">（ふり返りカード・行動観察）</p> </div>	
<p>3. GTのお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 名人の実演 ○ 名人の話 <p>4. 今日の学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふり返りカードの記入 ○ 全体で発表会を終えた感想交流 ○ 教師の話 	<p>※ 〇〇に名人がたくさんいること、気付かせたり、自他のがんばりをふり返らせたりできるように、ふり返りカードの書き方の視点を明確に伝える。</p> <p>※ 子どもたちが自分の頑張りやふり返った名人のすごさに気付いたりできるようなお話をさせていただくようお願いしておく。</p> <p>※ 具体的な子どもの姿を紹介することで、子どもに自分の頑張りや友だちのよさに気付かせ達成感をもたせられるようにする。</p>